

MITSUBISHI

三菱電機 空調管理システム 三菱電機スリムエアコン共通 MAスムーズリモコン PAR-26MA

販売店・工事店さま用

据付工事説明書

この説明書は三菱電機空調管理システム、直形マルチエアコン室内ユニット(Cタイプ)降用と三菱電機スリムパッケージエアコン共通のMAリモコンの据付工事についてのみ記載しております。よくお読みの上、正しく据付けてください。なお空調機本体への配線、および空調機本体の据付工事に関しては、空調機本体の据付説明書をご覧ください。本説明書につきましては、据付工事完了後にお客様にお渡しください。

1 安全のために必ず守ること

- 据付工事はこの「安全のために必ず守ること」をお読みの上、確実に行なって下さい。
 - 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。
- 警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。
- 注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家産、家財などの損害に結びつくもの。
- お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡し下さい。
 - お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の際は工事される方に、とお使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡し下さい。

警告

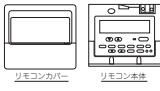
据付は、販売店または専門業者に依頼する。お客様自身で据付作業をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。	据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行なう。据付に不備があると、感電、火災等の原因になります。
据付は、充分に耐える所に確実に行う。強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。	電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電機移設に関する技術基準」、「内閣府規程」、及び本説明書に従って施工する。電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。
配線は所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。	お客様自身で移設はしない。据付工事に不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご依頼下さい。
改造、修理は絶対しない。改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。	

注意

可燃性ガスの漏れのある場所へ据付けない。万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。	浴室など大量の湯気が発生する所には据付けない。水のこぼる場所、壁が乾きやすいような場所を避けてください。感電、故障の原因になります。
特殊環境には使用しない。油(機械油を含む)、蒸気、酸化ガスなどの多い場所で使用すると性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。	酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等類剤に使用すると腐食は避けられない。感電、故障の原因になります。
病院、通信事業所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等による本機の誤動作や故障の原因になり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの害害の原因になることがあります。	配線は電圧容量にあった規格品の電線を使用すること。漏電や発熱、火災の原因になります。
配線は強力がからないように配線工事を行なう。新設したり、発熱、火災の原因になります。	濡れた手でボタンを操作しない。感電、故障の原因になります。
リモコンケーブル引き込み口を、パテで確実にシールする。露、水、ゴキブリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因となることがあります。	本機を水洗いしない。感電、故障の原因になります。
本機を据付る付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。変形、故障の原因となることがあります。	ボタンを先のとがった物で押さない。火災、感電の原因になります。
AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。リモコンへの印加電圧は最大で12Vです。破壊、発火、火災の原因となります。	

2 部品確認

- 箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。
1. リモコン (カバー、本体) ………………1
 2. 十字穴付きネジ ………………M4×30 ………………2
 3. ネジ ………………M4.1×16 (壁に直接据付ける時使用) ………………2
- *1 リモコンケーブルは別売です。現地調達するがPAC-YT81HC(10m)、PAC-YT82HC(20m)をお求めください。



1

5. リモコンケーブルを本体の端子台に接続します。

室内機リモコン端子台

リモコンケーブルの地線は6mm以上絶縁してください

極性はありません

注意 リモコンの端子台への接続に圧着端子は使用しないでください。基板と接触し故障の原因やカバーと接触し、カバー破損の原因になります。

注意 リモコンケーブルの切断などがリモコン内部に入らないようにしてください。感電、故障の原因となることがあります。

6. 壁などに直接リモコンを据付る場合の配線穴 (露出配線の場合)

- カバーの内側内部 (斜線部) をナイフ、ニッパーなどで切り取ってください。
- 端子台に接続したリモコンコードをこの部分から出します。

7. 本体にカバーをはめ込みます。

カバーを外す場合は右図のようにマイナスドライバーを爪部にはめ込み矢印で示す方向に動かします

上部爪 (2ヶ所) を先に掛けて、上図のように本体にはめ込みます。

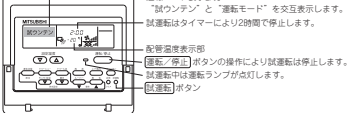
注意 「パチッ」と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にハマっていない場合、落下の恐れがあります。

注意 ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。爪がこわれてしまうことがあります。

お願い 操作時には保護シートの貼ってあります。ご使用の際は、保護シートをはがしてください。

4 試運転

1. 試運転を行なう前に必ず室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目をご覧ください。
2. 「試運転」ボタンを3秒以内に2回押すと、試運転が行なえます。
3. 「運転停止」ボタンの操作により試運転は停止します。
4. 試運転によって異常が発生した場合には室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目をご覧ください。



5 換気設定

フリーラン機種でロスタイと連動運転を行う設定が必要な場合のみ設定してください。(スリムエアコンでは、設定できません。)

*上位コントローラが接続される場合は、上位コントローラより設定してください。

お願い ロスタイと連動設定させる場合、必ずグループ内全ての室内ユニットアドレスとロスタイのアドレスを連動設定してください。リモコンが接続されている室内ユニットのロスタイ登録、登録した内容の検索、登録抹消設定を行う場合この操作を行います。ここでは、室内ユニットアドレス05、ロスタイアドレス30の場合を例に説明します。

[操作手順]

- ①リモコンの「運転/停止」ボタンで空調機を停止の状態にします。このとき、以下の停止表示でなければ、②の操作ができません。

②「フリルター/ルーバー」ボタンを同時に2秒押しすると下図の表示になり、現在リモコンが接続されている室内機が登録しているロスタイの検索を行います。

③登録検索結果
室内機のアドレスと登録設定されたロスタイのアドレスを交互表示します。

④ここで、何も設定する必要がなければ、「フリルター/ルーバー」ボタンを同時に2秒押し、終了します。新たにロスタイを登録したい場合は2. 「探索実行」、ロスタイの検索をしたい場合は2. 「探索実行」、いまの登録されているロスタイを抹消する場合は、3. 「既消滅押入」

3

3 据付方法

1. リモコン (スイッチボックス) の据付位置を決めてください。ただし、下記の事項を必ず守ってください。
 - (1) 温度センサはリモコンと室内ユニットの両方についていますが、リモコンの温度センサを使用する場合、主リモコンに設定したリモコンにて室温を検知します。主リモコンは部屋の平均的な温度を検知できる場所で、直射日光やエアコンの吹き出し空気が直接当たらないなど熱源の影響を受けない所に据付けてください。

注意 室温と室温の差が大きいところ (角) には、設置面温度の影響を受けた設置面表面付近温度を測定するため室温と差が出る可能性があります。以下のような設置状況の場合は室内ユニットの温度センサを使用してください。

 - 設置面の温度と室温の差が大きい場合
 - 設置面の背面が外気に接している場合
 - また、急激な温度変化がある場合、温度検知の追従性は悪くなります。

設置面の影響を受けやすい場所にて、かつリモコンの温度センサを使用する場合、別売のリモコン用ベアサ (形名:PAC-YT83RS) を使用してください。(リモコンの主/従設定は「6. 機能選択」(1) リモコン [4]-3. (1) を、温度センサの設定についてはフリーランシステム室内ユニットの据付説明書、スリムエアコンでは「6. 機能選択」(2) ユニット機能選択をご覧ください。)

 - (2) スイッチボックス、壁とどちらに据付る場合でも右図に示すスペースを確保してください。

お願い リモコンの温度センサの付近に配線がないことを確認してください。配線などがある場合、リモコンにて正確な室温を検知できません。

- (3) 下記の部品は現地で調達してください。
 - ・2個用スイッチボックス (JIS C8340)
 - ・薄銅線管 (JIS C8305)
 - ・ロックナット、ワッシャー (JIS C8330)
 - ・モールド (JIS C8425)

- 2. 露、水漏、ゴキブリ、虫などの侵入防止のためリモコンケーブル引込口をパテで確実にシールしてください。
- スイッチボックスを使用する場合
- 壁に直接据付ける場合

スイッチボックスに据付けた場合はスイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールしてください。

壁に直接据付ける場合、リモコンケーブルをリモコン背面から出す場合、その穴をパテでシールしてください。上カバーの切り取った部分よりリモコンケーブルを透過する場合は上カバーの切り取った部分を同様シールしてください。リモコンケーブルを壁面から引出す場合はモールドを使用して下さい。
- 3. リモコン本体のカバーを外します。
- マイナスドライバーを爪部にはめ込み矢印で示す方向に動かします。

注意 ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。爪がこわれてしまうことがあります。
- 4. 下ケースをスイッチボックスまたは壁に据付けます。
- スイッチボックスを使用する場合
- 壁に直接据付ける場合

スイッチボックスを使用する場合、リモコンケーブルをスイッチボックスから引出し、壁面にシールしてください。

壁に直接据付ける場合、リモコンケーブルをリモコン上部から引出し、壁面にシールしてください。

注意 ネジを締めすぎないでください。下ケースの変形、割れの原因になります。

お願い 据付面は壁に十分な所をお選びください。

- スイッチボックスまたは壁への据付は必ず2ヶ所以上を固定してください。
- 再度、壁へ取付けの際は、モリーアンカーなどを使用し、確実に固定してください。

2

1. 「既消滅」
 - ⑤ロスタイと登録設定したリモコンが接続されている室内機のアドレスを設定温度
 - ⑥登録設定したロスタイのアドレスを時刻設定 (または時間設定) ボタンを操作し、設定します。(01~50)

室内機アドレス、ロスタイアドレス

⑦「探索実行」ボタンを押し、設定した室内機アドレスとロスタイアドレスの登録を行います。登録の完了表示 (ロスタイ接続有りのとき) 室内機のアドレスと「LC」登録設定されたロスタイのアドレスと「LC」を交互表示します。

登録エラー表示 (ロスタイ接続なしのとき) 登録がうまく行かなかったとき室内機のアドレスと登録設定されたロスタイのアドレスを交互表示

登録設定した室内機またはロスタイが存在しないので登録ができません。登録設定した室内機別のロスタイが登録済みの登録ができません。
2. 「探索実行」
 - ⑧ロスタイの検索をしたいリモコンが接続されている室内機のアドレスを設定温度
 - ⑨ボタンを操作し、設定します。(01~50まで)

室内機アドレス

⑩「マイマニエ」ボタンを押して設定した室内機アドレスに登録されたロスタイアドレスの検索を行います。検索の完了表示 (ロスタイ接続有りのとき) 室内機のアドレスと「LC」登録設定されたロスタイのアドレスと「LC」を交互表示します。

検索の完了表示 (ロスタイ接続なしのとき)

指定した室内機のアドレスが存在しません。
3. 「既消滅」
 - リモコンが接続されている室内機とロスタイの登録設定を抹消する場合に使用します。
 - ⑪抹消させたいロスタイの検索 (2. 「探索実行」参照) を行い、室内機とロスタイの検索結果表示状態にします。
 - ⑫「マイマニエ」ボタンを2度押し、設定した室内機アドレスに登録されたロスタイアドレスの登録の削除を行います。抹消の完了表示 (ロスタイ接続なしのとき) 室内機のアドレスと「--」登録設定されたロスタイのアドレスと「--」を交互表示します。

抹消エラー表示 (ロスタイ接続有りのとき)

4

6 機能選択

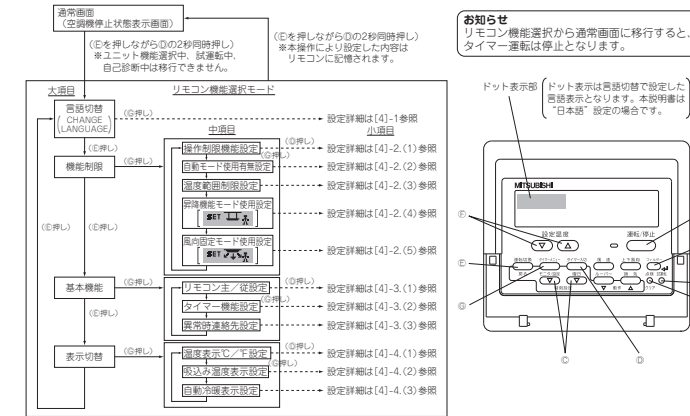
(1) リモコン機能選択

リモコン機能選択モードでは下記のリモコンの機能を設定変更できます。必要に感じ、設定変更をしてください。

大項目	中項目	小項目 (設定内容)
1. 言語切替 (CHANGE LANGUAGE)	表示する言語の設定を行います。	多言語表示ができます。
	(1) 操作制限機能設定 (操作ロック)	操作制限 (操作ロック) の範囲を設定します。
	(2) 自動モード使用設定	自動モードの「自動」機能を使用できるように設定します。
2. 機能制限	(3) 送風範囲制御設定	送風範囲制御 (上送風・下送風) を設定します。
	(4) 昇降機能モード使用設定	昇降機能モードの使用有無を設定します。
	(5) 風向固定モード使用設定	風向固定モードの使用有無を設定します。
	(6) リモコン主/従設定	主リモコン、従リモコンを切り替えます。 ※1台あたり2台接続時どちらか一方を「従」設定にします。
3. 基本機能	(1) タイマー機能設定	使用するタイマーの種類を設定します。 ※1グループ2台接続時どちらか一方を「従」設定にします。
	(2) 異常時の連絡先設定	異常発生時に連絡先の電話番号を表示させることができます。 電話番号の設定をします。
	(3) 異常時の連絡先設定	表示する温度単位 (C/F) を設定します。
4. 表示切替	(1) 温度表示C/F設定	室内 (風込み) 温度表示の有無を設定します。
	(2) 吸込み温度表示設定	室内 (風込み) 温度表示の有無を設定します。
	(3) 自動冷暖表示設定	室内 (風込み) 温度表示の有無を設定します。

機能選択の流れ

- 1 空機機を停止状態にして、リモコン機能選択モードに移行する
- 2 大項目を選択する
- 3 中項目を選択する
- 4 小項目 (内容を設定する) → 5 設定完了 → 6 通常画面に移行する (終了)



【設定詳細】
①-1 言語切替設定
 本設定により、ドット表示部に表示する言語を設定します。
 タイマーメニューボタンを押して下記内容を選択します。
 ① 日本語 (J)、② 英語 (GB)、③ ドイツ語 (D)、④ スペイン語 (E)、
 ⑤ ロシア語 (RU)、⑥ イタリア語 (I)、⑦ 中国語 (CH)、⑧ フランス語 (F)

①-2 操作制限設定 (操作ロック)
 タイマー入切ボタンを押して下記内容を選択します。
 (On) : 運転停止ボタン以外操作ロック設定となります。
 (Off) : 全ボタン操作ロック解除となります。
 ※通常画面にて操作ロックを実行するには、上記設定後に通常画面にて実行ボタン (フィルターボタン/送風停止ボタン) を同時に2秒押し続けます。

② 自動モード使用設定
 運転モード自動有りユニットに接続されている場合、下記内容の設定を行うことができます。
 タイマー入切ボタンを押して下記内容を選択します。
 (ON) (初期設定) : 運転モード選択操作時に自動モードを表示します。
 (OFF) : 運転モード選択操作時に自動モードを表示しません。

③ 送風範囲制御設定
 設定内容変更後は、変更した範囲内で温度変更が可能となります。

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を選択します。
 (1) 冷房モード : 冷房ドライモードでの設定温度範囲を変更します。
 (2) 暖房モード : 暖房モードでの設定温度範囲を変更できます。
 (3) 自動モード : 自動モードでの設定温度範囲を変更できます。
 (4) OFF (初期設定) : 送風範囲制御は実行されません。
 ※OFF以外が設定された場合、冷房、暖房、自動モードの温度制限設定が同時に実行されます。ただし、設定温度範囲が変更されない限りは制御は実行されません。

④ 昇降機能モード使用設定
 タイマー入切ボタンを押して下記内容を選択します。
 (ON) : 昇降機能モードへの移行操作が有効となります。
 (OFF) : 昇降機能モードへの移行操作が無効となります。
 ※移行操作 : 停止表示中のフィルターボタンと換気ボタンの同時2秒押し。

⑤ 風向固定モード使用設定
 タイマー入切ボタンを押して下記内容を選択します。
 (ON) : 風向固定モードへの移行操作が有効となります。
 (OFF) : 風向固定モードへの移行操作が無効となります。
 ※移行操作 : 停止表示中のフィルターボタンと換気ボタンの同時2秒押し。
 風向固定モードでの設定詳細については、ユニットの説明書を参照してください。

⑥ 風向固定モード使用設定
 タイマー入切ボタンを押して下記内容を選択します。
 (ON) : 風向固定モードへの移行操作が有効となります。
 (OFF) : 風向固定モードへの移行操作が無効となります。
 ※移行操作 : 停止表示中のフィルターボタンと換気ボタンの同時2秒押し。
 風向固定モードでの設定詳細については、ユニットの説明書を参照してください。

⑦ CALL-0120 * ** * :** 異常中に設定した電話番号を表示します。
 CALL- : 左記表示時、電話番号を設定します。
 電話番号設定方法
 (1) 設定時に下記設定操作により電話番号を設定します。
 ① 温度表示ボタンを押して、数字を設定してします。
 設定温度 (°C) ボタンを押してカーソルを右 (→) に移動させます。
 時刻設定ボタンまたは時刻設定ボタンを押して、番号を設定します。

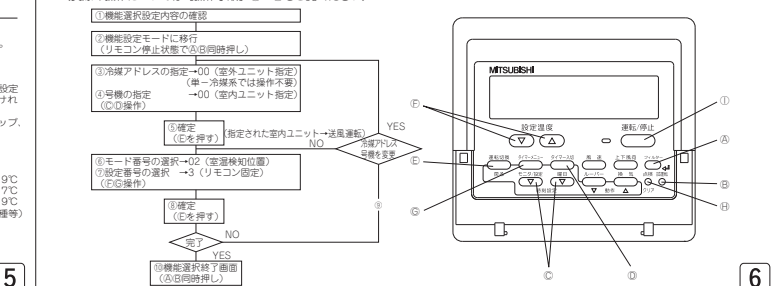
[4] -4. 表示切替設定
 (1) 温度表示C/F設定
 タイマー入切ボタンを押して下記内容を選択します。
 ① 上 : 温度表示単位を華氏表示にします。
 ② 下 : 温度表示単位を華氏表示にします。
 (2) 吸込み温度表示設定
 タイマー入切ボタンを押して下記内容を選択します。
 (ON) : 吸込み温度表示をオンにします。
 (OFF) : 吸込み温度表示をオフにします。
 (3) 自動冷暖表示設定
 タイマー入切ボタンを押して下記内容を選択します。
 (ON) : 自動冷暖表示をオンにします。
 (OFF) : 自動冷暖表示をオフにします。
 ※OFF : 自動冷暖表示時、「自動」のみが表示されます。

(2) ユニット機能選択 スイッチエアコンで変更が必要な場合のみ設定してください。(フリープランでは、設定できません。)
 リモコンより必要に応じて各ユニットの機能を設定します。各ユニットの機能選択はリモコンからのみ設定可能です。
 表1) 機能選択が必要な項目を選択してください。
 表2) 機能選択内容 (各ユニットの出荷設定内容、モードについての詳細はユニットの据付工事説明書をご覧ください。)

モード	設定	内容	モード番号	設定番号	チェック欄	対象機種
停電自動復帰	無し/有り	電圧回復後、約4分待機が必要となります。同時運転時室内ユニット平均	01	2		00号機
室温検知位置	有り	リモコン接続室内ユニット固定	02	1		
ロスタイム接続	接続無し/接続有り (室内ユニット外装取入無し)	リモコン接続室内ユニット固定	03	2		
自動運転モード	有り/無し	省エネサイクル自動有効	05	2		01~04号機 又はAL
フィルターサイン	100時間/200時間	フィルターサイン表示無し	07	2		
風量	高/中/低	高天井	08	3		各室内ユニットに対し 設定を行う項目です。
吹出し口数	4方向/3方向	有り	09	2		
オプション組み込み	有り/無し	ベーン有り第1設定	10	2		
上下ベーン設定	有り/無し	ベーン有り第2設定	11	3		
省エネ暖気流	有効/無効	有り	12	1		
加湿器組み込み	有り/無し	有り	13	2		

お願い 工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を表1のチェック欄に○印などで記入して確認ください。

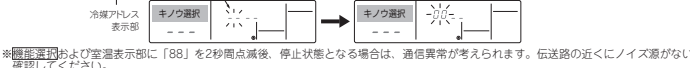
機能選択の流れ
 まずは機能選択の流れをつかんでください。ここでは表1の「室温検知位置」の設定を例に説明します。
 (実際の操作については【操作手順】①~④をご覧ください)



(2) 機能選択の手順

① 機能選択の各モードの設定内容を確認してください。機能選択にて各モードの設定内容を変更した場合、そのモードの機能が変更されます。
 ② ~④ に従って現在の設定内容を確認し、表1のチェック欄に記入の上、設定を変更してください。なお、工場出荷時の設定については室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。

⑤ リモコンを停止します。
⑥ フィルターボタンと送風停止ボタンを同時に2秒以上押し続けます。
 (冷房アドレス表示部) キョウ選択 → (冷房アドレス表示部) キョウ選択
 ※冷房アドレス表示部が「00」になり、冷房アドレス表示部とともに冷房アドレス表示部が点滅し、しばらくするとリモコンの表示が下記の表示になります。

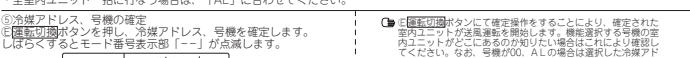


※リモコン表示部および室温表示部に「88」を2秒間点滅後、停止状態となる場合は、通信異常が考えられます。伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。

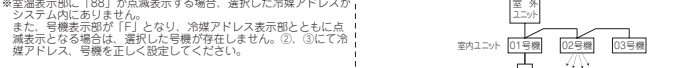
お願い 途中で操作を間違えた場合は、一度②より操作を行ってください。

⑦ 室内ユニットの機種番号を確認し、リモコン表示部「-」を点滅させます。
 (冷房アドレス表示部) キョウ選択 → (冷房アドレス表示部) キョウ選択
 ※モード1~3を設定する場合は、「00」に合わせてください。
 ※モード7~11を設定する場合は、
 ・各室内ユニットごとに行なう場合は、「01~04」に合わせてください。
 ・全室内ユニットごとに行なう場合は、「AL」に合わせてください。

⑧ 冷房アドレス、機種番号の確認
⑨ フィルターボタンと送風停止ボタンを同時に2秒以上押し続けます。
 (冷房アドレス表示部) キョウ選択 → (冷房アドレス表示部) キョウ選択
 ※冷房アドレス表示部が「00」になり、冷房アドレス表示部とともに冷房アドレス表示部が点滅し、しばらくするとリモコンの表示が下記の表示になります。



※室温表示部に「88」が点滅表示する場合、選択した冷房アドレスがシステム内にありません。
 また、機種番号が「00」になり、冷房アドレス表示部とともに冷房アドレス表示部が点滅し、選択した機種番号が存在しません。②、③にて冷房アドレス、機種番号を正しく設定してください。



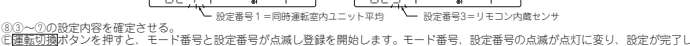
⑩ モード番号の選択
⑪ (設定温度) ボタンにより設定したいモード番号を設定します。(設定可能なモード番号のみ選択できます。)



⑫ 選択したモードの設定内容を選択します。
⑬ アイマニメニューボタンを押すと、現在設定されている設定番号が点滅します。これにより現在の設定内容を確認してください。



⑭ ②~④の設定内容を確認する。
⑮ フィルターボタンを押すと、モード番号と設定番号が点滅し登録を開始します。モード番号、設定番号の点滅が点灯になり、設定が完了します。



※モード番号および設定番号が「---」となり室温表示部に「88」が点滅表示となる場合は、通信異常が考えられます。伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。

⑯ 更に、他の機能選択を行なう場合は、②~④の作業を繰り返し行ってください。

⑰ 機能選択を終了します。
⑱ フィルターボタンと送風停止ボタンを同時に2秒以上押し続けます。
 (冷房アドレス表示部) キョウ選択 → (冷房アドレス表示部) キョウ選択
 ※機能選択終了後、30秒間はリモコンより操作しないでください。

お願い 工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を表1のチェック欄に○印などで記入して確認ください。

7 自己診断

① リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。
 ② 自己診断したいアドレスまたは、冷房アドレスNo.を合わせます。
 ③ 自己診断モードに切り替えます。
 ④ 冷房アドレスNo.を合わせます。



⑤ 診断結果表示 (異常履歴がある場合)
 (異常履歴の内容は室内ユニットの据付工事説明書またはサービスハンドブックをご覧ください)



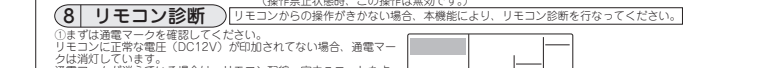
⑥ 異常履歴リセット操作
 ⑦ 診断結果表示画面にて異常履歴を表示させます。



⑧ タイマー入切ボタンを連続で3秒以内に2回押しすると自己診断対象アドレスまたは、冷房アドレスが点滅します。



⑨ 自己診断の解除
 ⑩ 自己診断モードに切り替えます。
 ⑪ 冷房アドレスNo.を合わせます。



8 リモコン診断

① まずは通電マークを確認してください。
 リモコンに正常な電圧 (DC12V) が印加されていない場合、通電マークは点滅しています。
 通電マークが点滅している場合は、リモコン交換、室内ユニットを点検してください。

② リモコン診断モードに移行
⑬ フィルターボタンを押すと、リモコンの診断を開始します。



④ リモコン診断結果
リモコン正常 (異常表示) 「NG」が点滅→リモコン送信回路不良
リモコン不良 (異常表示) 「RC」が点滅→リモコン送信回路不良

リモコンの問題はありませんので他の原因を調査してください。リモコンの交換が必要です。
 リモコン診断したリモコン以外に問題が考えられる場合
 (異常表示②) 「E3」 「6833」 「6832」 が点滅→送信不可 (異常表示③) 「ERC」 とデータエラー数を表示→データエラーの発生



伝送路にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントロールを調査してください。

データエラー発生数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を意味します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。

⑤ リモコン診断の解除
⑱ フィルターボタンを5秒以上押し続けると、リモコン診断を解除し、「PLEASE WAIT」 運転ランプが点滅し、約30秒後、リモコン診断前の状態に戻ります。

